

2018年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社日立物流
 コード番号 9086 URL <http://www.hitachi-transportssystem.com>
 代表者（役職名）執行役社長（氏名）中谷 康夫
 問合せ先責任者（役職名）経営戦略本部 広報部長（氏名）高岡 勲（TEL）03-6263-2803
 四半期報告書提出予定日 2018年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績（2017年4月1日～2017年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		調整後 営業利益 *1		EBIT *2		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社株主に帰属 する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	525,863	6.1	21,902	△3.7	25,203	△6.9	24,566	△6.2	16,364	△8.9	15,466	△7.9
2017年3月期第3四半期	495,547	△3.5	22,739	12.5	27,076	32.6	26,187	32.3	17,954	42.7	16,786	46.6

	基本的1株当たり 親会社株主に 帰属する四半期利益
	円 銭
2018年3月期第3四半期	138.65
2017年3月期第3四半期	150.48

*1. 当社は、「営業利益」に代え、「調整後営業利益」を連結経営成績に関する指標として用いており、「調整後営業利益＝売上収益－売上原価－販売費及び一般管理費」により算出しています。なお、2018年3月期第3四半期の営業利益は、21,292百万円です。

*2. EBITは、Earnings Before Interest and Taxesの略で、「EBIT＝税引前四半期利益－受取利息＋支払利息」により算出しています。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社株主持分	親会社株主持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2018年3月期第3四半期	555,774	224,100	212,403	38.2
2017年3月期	549,924	213,919	201,436	36.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2018年3月期	—	18.00	—	—	—
2018年3月期（予想）	—	—	—	18.00	36.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想（2017年4月1日～2018年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		調整後 営業利益		EBIT		税引前 当期利益		当期利益		親会社株主に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 親会社株主に帰属 する当期利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	690,000	3.7	29,500	0.1	32,100	1.7	30,900	1.7	21,100	5.9	20,000	6.9	179.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2018年3月期3Q	111,776,714株	2017年3月期	111,776,714株
2018年3月期3Q	226,898株	2017年3月期	226,728株
2018年3月期3Q	111,549,918株	2017年3月期3Q	111,550,225株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、決算発表後、速やかに当社Webサイトに掲載する予定です。

・当社は、2018年1月31日にアナリスト・機関投資家向けの電話会議を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下、「当第3四半期」）における連結業績は次のとおりです。

（単位：百万円）

区分	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
売上収益	495,547	525,863	106%
調整後営業利益	22,739	21,902	96%
EBIT	27,076	25,203	93%
親会社株主に帰属する四半期利益	16,786	15,466	92%

売上収益は5,258億63百万円(前年同期比6%増)、調整後営業利益は219億2百万円(前年同期比4%減)、EBITは252億3百万円(前年同期比7%減)、親会社株主に帰属する四半期利益は154億66百万円(前年同期比8%減)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

【国内物流】

（単位：百万円）

区分	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
売上収益	308,003	311,866	101%
セグメント利益(調整後営業利益)	16,821	15,942	95%

当セグメントの売上収益は、前年度に立ち上げた案件（流通小売、食品関連等）の本格稼働や、業務提携先との協創効果等により、前年同期に比べ1%増加し、3,118億66百万円となりました。

セグメント利益は、増収影響や生産性向上効果はあったものの、次世代/先端技術や働き方改革他への先行投資を実施したことなどにより、前年同期に比べ5%減少し、159億42百万円となりました。

【国際物流】

（単位：百万円）

区分	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
売上収益	171,556	197,951	115%
セグメント利益(調整後営業利益)	4,485	4,769	106%

当セグメントの売上収益は、特に海外地域におけるフォワーディング事業の物量回復や、前年度に立ち上げた案件（自動車、アパレル関連等）の本格稼働、さらには為替影響等により、前年同期に比べ15%増加し、1,979億51百万円となりました。

セグメント利益は、全社費用負担の見直しによる当セグメントへの負担増はあったものの、増収影響等により、前年同期に比べ6%増加し、47億69百万円となりました。

【その他（物流周辺事業等）】

（単位：百万円）

区分	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
売上収益	15,988	16,046	100%
セグメント利益(調整後営業利益)	1,433	1,191	83%

当セグメントの売上収益は、前年同期並みの、160億46百万円となりました。

セグメント利益については、自動車整備事業の取り扱い減少等により、前年同期に比べ17%減少し、11億91百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産の部合計は、前連結会計年度末に比べ58億50百万円増加し、5,557億74百万円となりました。流動資産は、現金及び現金同等物が74億73百万円減少したものの、売上債権が117億4百万円増加したことなどにより、28億85百万円増加いたしました。非流動資産は、無形資産が17億27百万円減少したものの、持分法で会計処理されている投資が29億21百万円、その他の金融資産が24億26百万円増加したことなどにより、29億65百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の負債の部合計は、前連結会計年度末に比べ43億31百万円減少し、3,316億74百万円となりました。流動負債は、その他の流動負債が51億86百万円減少したものの、償還期長期債務が97億74百万円増加したことなどにより、56億61百万円増加いたしました。非流動負債は、退職給付に係る負債が10億19百万円増加したものの、長期債務が112億82百万円減少したことなどにより、99億92百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の資本の部合計は、前連結会計年度末に比べ101億81百万円増加し、2,241億円となり、また親会社株主持分比率は前連結会計年度末の36.6%から38.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）の残高は、前連結会計年度末に比べ74億73百万円減少し、500億10百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期に比べ22億79百万円増加し、129億87百万円の収入となりました。この主な要因は、売上債権の増減92億45百万円、その他の資産及びその他の負債の増減67億96百万円等による資金の減少と、四半期利益163億64百万円、減価償却費及び無形資産償却費142億11百万円等により資金が増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期に比べ617億41百万円増加し、67億51百万円の支出となりました。この主な要因は、有形固定資産及び無形資産の売却13億13百万円等による資金の増加と、有形固定資産及び無形資産の取得87億99百万円により資金が減少したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期に比べ731億36百万円減少し、152億5百万円の支出となりました。この主な要因は、非支配持分からの子会社持分取得74億84百万円、配当金の支払39億4百万円、リース債務の返済35億15百万円等により資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

グローバル経済では、従来の自由貿易拡大主義から、保護主義・ブロック経済化への懸念が広がり、日本企業においても今後の戦略転換への兆しが見受けられます。

また、日本経済、特に物流業界においては、かねてより懸念されていた労働力不足に、EC市場の拡大に代表される消費行動の変化が加わり、多頻度多品種小ロット化の進展、そして対応する労働力の確保に伴うコストアップ等により、経営環境は厳しさを増しております。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画の基本戦略である「3PL事業の徹底強化とシェア拡大」「フォーディング事業の拡大」「重量・機工事業の強化」を確実に遂行することにより、当社グループの持続的な成長の実現と企業価値の向上をめざしてまいります。

なお、2017年10月26日に公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	57,483	50,010
売上債権	125,600	137,304
棚卸資産	1,466	1,473
その他の金融資産	7,086	6,434
その他の流動資産	13,227	12,526
流動資産合計	204,862	207,747
非流動資産		
持分法で会計処理されている投資	71,518	74,439
有形固定資産	177,520	176,982
のれん	28,067	28,593
無形資産	34,766	33,039
繰延税金資産	8,193	8,070
その他の金融資産	16,858	19,284
その他の非流動資産	8,140	7,620
非流動資産合計	345,062	348,027
資産の部合計	549,924	555,774

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
(負債の部)		
流動負債		
買入債務	51,786	53,722
短期借入金	8,557	10,544
償還期長期債務	5,644	15,418
未払法人所得税	7,253	4,697
その他の金融負債	23,628	23,334
その他の流動負債	31,347	26,161
流動負債合計	128,215	133,876
非流動負債		
長期債務	149,914	138,632
退職給付に係る負債	31,187	32,206
繰延税金負債	11,481	11,578
その他の金融負債	12,636	12,655
その他の非流動負債	2,572	2,727
非流動負債合計	207,790	197,798
負債の部合計	336,005	331,674
(資本の部)		
親会社株主持分		
資本金	16,803	16,803
資本剰余金	8,272	3,409
利益剰余金	176,842	188,414
その他の包括利益累計額	△301	3,958
自己株式	△180	△181
親会社株主持分合計	201,436	212,403
非支配持分	12,483	11,697
資本の部合計	213,919	224,100
負債・資本の部合計	549,924	555,774

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
売上収益	495,547	525,863
売上原価	△439,232	△466,562
売上総利益	56,315	59,301
販売費及び一般管理費	△33,576	△37,399
調整後営業利益	22,739	21,902
その他の収益	2,384	807
その他の費用	△1,027	△1,417
営業利益	24,096	21,292
金融収益	97	92
金融費用	△152	△969
持分法による投資利益	3,035	4,788
受取利息及び支払利息調整後 税引前四半期利益	27,076	25,203
受取利息	550	700
支払利息	△1,439	△1,337
税引前四半期利益	26,187	24,566
法人所得税費用	△8,233	△8,202
四半期利益	17,954	16,364
四半期利益の帰属		
親会社株主持分	16,786	15,466
非支配持分	1,168	898

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益		
基本	150.48円	138.65円
希薄化後	－円	－円

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期利益	17,954	16,364
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動額	△206	471
持分法のその他の包括利益	9	△19
純損益に組み替えられない項目合計	△197	452
純損益に組み替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	△944	4,936
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動額	36	—
持分法のその他の包括利益	△109	8
純損益に組み替えられる可能性がある 項目合計	△1,017	4,944
その他の包括利益合計	△1,214	5,396
四半期包括利益	16,740	21,760
四半期包括利益の帰属		
親会社株主持分	15,930	19,799
非支配持分	810	1,961

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位:百万円)

前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)								
						親会社 株主持分 合計	非支配持分	資本の部 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式			
期首残高	16,803	9,630	161,708	1,546	△180	189,507	12,785	202,292
変動額								
四半期利益			16,786			16,786	1,168	17,954
その他の包括利益				△856		△856	△358	△1,214
非支配持分との取引等		△1,344		5		△1,339	△746	△2,085
配当金			△3,569			△3,569	△77	△3,646
自己株式の取得及び売却					△0	△0		△0
変動額合計	—	△1,344	13,217	△851	△0	11,022	△13	11,009
期末残高	16,803	8,286	174,925	695	△180	200,529	12,772	213,301

(単位:百万円)

当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)								
						親会社 株主持分 合計	非支配持分	資本の部 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式			
期首残高	16,803	8,272	176,842	△301	△180	201,436	12,483	213,919
変動額								
四半期利益			15,466			15,466	898	16,364
その他の包括利益				4,333		4,333	1,063	5,396
非支配持分との取引等		△4,863		△64		△4,927	△2,657	△7,584
配当金			△3,904			△3,904	△90	△3,994
利益剰余金への振替			10	△10		—		—
自己株式の取得及び売却					△1	△1		△1
変動額合計	—	△4,863	11,572	4,259	△1	10,967	△786	10,181
期末残高	16,803	3,409	188,414	3,958	△181	212,403	11,697	224,100

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	17,954	16,364
四半期利益から営業活動による キャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び無形資産償却費	13,994	14,211
減損損失	—	483
減損損失の戻入れ	△461	—
持分法による投資利益	△3,035	△4,788
法人所得税費用	8,233	8,202
退職給付に係る負債の増減	260	950
受取利息及び受取配当金	△635	△785
支払利息	1,439	1,337
固定資産売却損益	△1,544	△265
売上債権の増減	△9,261	△9,245
棚卸資産の増減	△315	34
買入債務の増減	843	524
その他の資産及びその他の負債の増減	△6,046	△6,796
その他	679	677
小計	22,105	20,903
利息及び配当金の受取	846	2,594
利息の支払	△1,349	△1,185
法人所得税の支払	△10,894	△9,325
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,708	12,987
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得	△10,468	△8,799
有形固定資産及び無形資産の売却	4,393	1,313
預け金の払戻	3,500	—
持分法で会計処理されている投資の取得	△66,843	—
その他	926	735
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,492	△6,751
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減	△484	1,253
長期借入債務による調達	122,828	—
長期借入債務の返済	△54,960	△1,211
リース債務の返済	△3,612	△3,515
非支配持分からの子会社持分取得	△2,085	△7,484
配当金の支払	△3,569	△3,904
非支配持分株主への配当金の支払	△86	△107
その他	△101	△237
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,931	△15,205
現金及び現金同等物に係る換算差額	△401	1,496
現金及び現金同等物の増減	△254	△7,473
現金及び現金同等物の期首残高	45,146	57,483
現金及び現金同等物の期末残高	44,892	50,010

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務 諸表計上額
	国内物流	国際物流	計				
売上収益							
外部顧客への売上収益	308,003	171,556	479,559	15,988	495,547	—	495,547
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	—	—	—	7,561	7,561	△7,561	—
計	308,003	171,556	479,559	23,549	503,108	△7,561	495,547
セグメント利益	16,821	4,485	21,306	1,433	22,739	—	22,739
その他の収益							2,384
その他の費用							△1,027
金融収益							97
金融費用							△152
持分法による投資利益							3,035
受取利息							550
支払利息							△1,439
税引前四半期利益							26,187

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報システム開発、自動車販売・整備、旅行代理店業等を含んでおります。

2 親会社の管理部門に係る費用等の事業セグメントに帰属しない全社費用は、合理的な基準に基づき各事業セグメントへ配分しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務 諸表計上額
	国内物流	国際物流	計				
売上収益							
外部顧客への売上収益	311,866	197,951	509,817	16,046	525,863	—	525,863
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	—	—	—	7,628	7,628	△7,628	—
計	311,866	197,951	509,817	23,674	533,491	△7,628	525,863
セグメント利益	15,942	4,769	20,711	1,191	21,902	—	21,902
その他の収益							807
その他の費用							△1,417
金融収益							92
金融費用							△969
持分法による投資利益							4,788
受取利息							700
支払利息							△1,337
税引前四半期利益							24,566

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報システム開発、自動車販売・整備、旅行代理店業等を含んでおります。

2 親会社の管理部門に係る費用等の事業セグメントに帰属しない全社費用は、合理的な基準に基づき各事業セグメントへ配分しております。